

平成27年度の動植物等に係る保全措置、調査等の実施状況について

鳥取県東部広域行政管理組合では、環境影響評価書を受けて保全措置、モニタリング調査等を進めています。

平成27年度に実施した保全措置、モニタリング調査等の概要は表1に示すとおりです。

表1 平成27年度に実施した保全措置、モニタリング調査等の概要

項目		内容・結果
植物	貴重植物の移植及び移植後のモニタリング	<p>【内容】 ナツエビネ、コ克蘭の移植後のモニタリングを実施した。</p> <p>【結果】 ナツエビネ：移植した2株についていずれも生育を確認した。 コ克蘭：移植した68株のうち62株の生育を確認した。</p>
動物 水生生物 生態系	カスミサンショウウオ・イモリの仮移殖	<p>【内容】 カスミサンショウウオ・イモリについて仮移殖後のモニタリングを実施した。</p> <p>【結果】 カスミサンショウウオ： 仮移殖箇所ではカスミサンショウウオの産卵は確認されなかった。仮移殖箇所の環境に大きな変化はなく、追加移殖等を行いつつ、経過を確認するものとした。 移殖前の産卵箇所では、引き続き産卵が確認された。</p> <p>イモリ： 仮移殖箇所では確認されなかった。仮移殖箇所の環境に変化はないが、越冬期に確認しにくい、又は越冬に利用していない可能性があり、今後調査時期の変更を検討するものとした。 仮移殖箇所の下流や、移殖前の生息箇所では引き続き生息が確認された。</p>



コ克蘭（開花後）



ナツエビネ（開花前）



追加移殖したカスミサンショウウオ卵塊



地ユノ谷で確認されたイモリ等